



●議員は原則2期・最長3期で交代 ●議員報酬は市民の活動費 ●選挙はカンパとボランティアで

つくば・市民ネットワーク通信

発行：つくば・市民ネットワーク
Tel&Fax:029-859-0264
つくば市二の宮2-1-3クラフトビル1F
tsukubahotnet@ybb.ne.jp
https://tsukuba-net.jp



2022年1月27日 vol.70

高齢福祉部会

歳をとっても自分らしく
暮らすために

高齢者が地域で安心して暮らし続けるために何が必要かを、自分の事として話し合い、調べ、解決に向けて活動しています。

【地域包括支援センター】

6地域のセンターを手分けして訪問したり、FAXでやりとりし、センター長やスタッフの方から相談件数や現状と地域の課題を聞き取りしました。

【社会福祉協議会】

市の福祉政策を実施する要ともいえる社会福祉協議会から事業について話を伺いました。

【生活支援コーディネーター】

7圏域毎の社会福祉協議会専任職員と、地域で福祉活動をしている多様な人々とのつながりが出来始めて、地域で暮らし続けられる仕組みが整いつつあります。



ごみゼロをめざして！

環境・ごみ部会

こどもや孫の世代に安心して暮らせる環境を残すため、持続可能な循環型社会を進めることをめざしています。

【最終処分場がない】

つくば市のごみの最終処分場は市内にありません。他県

の処分場をお願いしている状況です。「将来、そこも満杯になるよね。どうかしなくっちゃ!」とごみ減量活動に取り組んでいます。

【まずは生ごみの減量】

自分たちでできることからと生ごみ減量のため、ダンボールコンポストの紹介をしています。去年はダンボールコンポスト講習会の参加者は30名ほどになりました。

また資源ごみとされる古紙や古布のゆくえを実際に確かめるために施設見学を行い、そこでの情報を皆さんにお知らせしたりしています。

ごみ問題やダンボールコンポストに関心のある方、ぜひ、ご連絡ください！



集めよう 市民の力!!



つくば・市民ネットワークでは、暮らしの中で気になることを取り上げテーマごとに部会を設けて活動し、情報を市民へ届けたり議会や行政へ提案しています。今回紹介する4部会のほか、**エネルギー部会、市民参加部会、中心市街地まちづくり部会**などがあります。

1人ではできないけれど、力を合わせれば変えられることがあります。関心のある方は、ぜひご連絡ください。

障害福祉部会

障害のある人が暮らしやすい街は、
誰にとっても暮らしやすい！

色々な障害の当事者や関係者の方々と力を合わせて、「障害があっても自分らしく生きられるつくば」を目指して活動しています。

【最近の取り組み】

- ・センタービルリニューアルや公共施設の新設にあたり、バリアフリーになるよう現場や設計を障害のある当事者と一緒にチェック



- ・障害当事者・団体と話し合いながら、暮らしの課題を一つずつ改善

【実現した施策】

- ・小中学校における特別支援教育支援員の増員
- ・日常生活用具給付事業の更新基準の見直し（耐用年数を過ぎれば更新費用を補助するように）
- ・合理的配慮支援事業の開始（店舗等のスロープや筆談ボード設置を補助金をつけて促進）

つくばの街はまだまだバリアだらけ。これからも当事者、関係者、行政の皆さんと話し合い、行動していきます。

「変えたい」をカタチに、
まずは話すことから

こども部会

【はじまりは…】

親が孤立せず、楽しく安心して出産・子育てができる環境づくりをしたい!仲間が集まりました。

【こんなことをしています】

だれでも参加できるおしゃべり会（こどもカフェ）、一人ひとりの気持ちをみんなでカタチにする学習会や上映会、そしてこども部会としてつくば市に直接意見を伝えることもしばしば。大きな課題については代理人（議員）が一般質問などで取り上げて、たくさんの市民に伝えています。

【最近の話題から】

新型コロナをきっかけに急速に進んだ教育のデジタル化、子どものマスク、学校行事の中止や変更での子どものケア、子どもの遊び、不登校、学校給食etc。「ねえ、これってどう思う?」から始まるおしゃべりで気持ちを軽くして、自分たちにできることは何かを考え、学校や保育の現場や行政に声を届けていきます。心に引っかかっていること、一緒に話しましょう。



子どもの居場所と「子どもの権利条約」

学校に行けない、行かない子どもたちが増えています。つくば市では年間30日以上欠席の「不登校児童生徒」は2020年度で399人、とりわけ小学生が右肩上がりに増加しています。小学校ではプログラミングや英語などの導入で授業時数が増えており、学校の限りある時間を「効率よく」使うために、休み時間が短縮される、朝登校したらすぐに学習に入るなど、学校生活が窮屈なものになっています。

*校内フリースクール「モデル校」でスタート

つくば市の各学校では普通教室に入りづらい子どもたちへの対応として、保健室・図書室などを含めた「別室登校」での見守りを行ってきました。2022年度からは、一歩踏み込んだ「校内フリースクール」事業を始めるとのことで内容を確認しました。

初年度はモデル校での実施となりますが、専用の教室、専任の教員で一人ひとりが時間割を作るなど「子どもが主体となる活動」をしていく、とのことです。

つくば・市民ネットワークでは、これまでプレイパーク、森のようちえん、放課後こども教室のあり方、など「子どもが主体となる居場所」について提案してきました。校内フリースクールもその一つとして期待しています。

*「子どもの権利条約」と居場所

「子どもが主体となる居場所」とは、「子どもが自ら考え、意見を述べ、行動する権利が守られる」場所です。このことが明記されているのが「国連子どもの権利条約」です。この条約、日本は1994年に批准していますが、考え方は浸透しているとは言えず、2019年には「子どもの意見を聞くよう」勧告が出されています。



*子どもが考え、行動できるためには

茨城県教育研修センターが連続配信している「エド・カフェ」というシリーズがあります。毎回参加する先生たちが対話をしていく動画です。その中で繰り返し語られているのは、**子どもたちが意見を言えるようになるには、学校で先生同士が対話をしていくことが大切**だということです。ぜひ多くの先生方、保護者にみていただきたいと思います。

子ども一人ひとりの気持ちと丁寧に向き合い、子どもが主体となる場をどのように作っていくか、これからも提案を続けていきます。



つくば市議会議員
総務委員会副委員長
あさの えくこ

一般質問項目

- ・学校給食における地産地消
- ・学校生活における「子どもの人権」の考え方



エド・カフェ

高エネ研南側土地問題、解決へ大きく前進！



つくば市議会副議長
都市建設委員会委員
皆川 ゆきえ

一般質問項目

- ・入札制度
- ・荻崎保健センター及び荻崎庁舎跡地の活用

*市民説明会意見と利用方針 利用方針案の詳細はつくば市HPをご覧ください→

昨年11月に提示された土地の利用方針案は、民間事業者を公募し、土地の一括購入と一部に防災関連施設（倉庫や広場）を整備・管理してもらい、必要な時は市が使えるようにする内容でした。その後の市民説明会やパブコメの意見を受けて、防災広場の維持管理を市が行うように変更されました。この変更により、防災広場は確実に市民が使いやすくなると考えます。

他の意見として「研究所として利用できないのか」「道の駅を作って欲しい」「陸上競技場が欲しい」「テニスコートが欲しい」などの市民意見が出されました。パブコメで意見が最も多かった陸上競技場については、これまで利用目的が決まっていなかった上郷高校

跡地に建設する計画が進められています。

***一括売却が妥当と考える理由** そもそも市民ネットは、過大な投資である総合運動公園建設及び土地購入に反対の立場でした。この土地利用についても、当初より少しでも早く財政負担軽減のために売却すべきと考えてきました。

なぜなら、今後財政投入が必要な事業が山積しているからです。例えば、学校を始めとする公共施設・水道管などのインフラの維持更新、市民の健康維持のための身近なスポーツ施設の改修、また、中心市街地及び周辺市街地の活性化を担う人材育成や財政投入。そして、市民サービスの適切な実施のため、全職員の約半数にのぼる非正規職員を正規職員にしていくことも必要です。他にも、高齢者が地域で暮らし続けるための生活支援や移動支援等の仕組みづくり、貧困家庭やひとり親家庭を支える制度、障害者が自由に街に出るためのバリアフリー対策など、まだまだ多額の予算が必要な事業や課題があります。

***土地代金の収入以外にも** 高エネ南側土地を民間に購入してもらった場合に見込まれる固定資産税等の税収は最大で年間4億円以上という試算もあります。

これらのことを総合的に考え、市民ネットでは、この土地については民間に一括売却し、市民生活のためにより必要なことにお金をまわしていくことが大事と考え、今回の利用方針に賛成しました。

2021年12月議会議決結果 ●「特別支援学校新設の意見書採択に関する請願書」「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律の改正を求める意見書」「県南地域における特別支援学校の新設に関する意見書」は全会一致で採択されました。

議決の結果 (○：賛成、×：反対)		会 派 名		つくば・市民 ネットワーク	つくば自民党・新しい風	自民党 政清クラブ	公明党 つくば	創生 クラブ	日本共産 党つくば 市議団	つくば チェンジ チャレンジ	清郷会	山中 八策の会	新社会党 つくば
土地開発公社との高エネ研南側未利用地の契約内容を変更し、利活用の選択肢を広げる議案		可決		○	○	×	○	○	×	○	○	○	○
各会派の所属議員(敬称略) *は会派代表(議員数28 議長：小久保)				*小森谷、川村 あさの、皆川	*黒田、長塚、神谷 小久保、五頭 ヘイズ、久保谷	*飯岡、宮本 木村修、塚本 鈴木	*小野 山本 浜中	*高野 小村 中村	*橋本 山中	*川久保	*木村清	*塩田	*金子



つくば市議会議員
市民経済委員会委員
川村 直子
一般質問項目
・障害者福祉タクシー券制
度の見直し
・投票の権利の保障
・公的書類の旧姓併記

障害者の交通費助成 ICカードが選択可能に

つくば市では、重度障害者の社会参加促進のための交通費助成として、該当する方には、申請により、年間18,000円分の「つくば市障害者福祉タクシー利用券」が交付されています。

12月議会でのこの制度の見直し予定について質問したところ、2022年4月からは、交通系ICカードを使ってバスや電車使用の場合にも助成が受けられるように制度変更を予定しているとの答弁でした。福祉タクシー券と交通系ICカード、交通費助成の選択肢が増え、どちらか選べるようになります。

これまで福祉タクシー券は、制度の使いづらさや不便さがあるために、対象者のたった1割弱のみの申請しかありませんでした。例えば電動車いす使用の人は、申請できても、電動車いす対応のタクシーが圧倒的に少ないため、福祉タクシー券を使用できません。またバスや電車等に乗車する場合、自治体からの交通費助成はない状態でした。



そこで、より利用しやすい制度とするにはどうしたらよいか、当事者とこの問題に関心のある市民とで議論を重ね、市担当課とも意見交換をしてきました。来年度から交通系ICカードの助成制度が始まることは、粘り強い活動の成果であり、大きな前進です。

なお、交通費助成の選択肢が増えても、まだ課題は残ります。福祉タクシー券は1回につき1,000円しか利用できないこと、交通系ICカードを選んだ場合はタクシーには使えないこと、交通事業者側の障害者割引制度に対する理解が不十分であることなどです。新たな制度運用が開始された後に、使い勝手や改善希望など利用者の声を聞き取り、柔軟な対応を要望しました。

このように、生活の中のさまざまな課題について市民同士が意見を交わし、行動していくことは、誰もが住みよいまちを作っていく上で大きな力となります。これからもこの視点を大事に活動していきます。

HPVワクチン 接種するなら接種後の症状に注意！

2013年以降、定期接種でありながら「積極的な接種の勧奨」が中止になっていたHPVワクチン（いわゆる子宮頸がんワクチン）ですが、「**勧奨を再開する**」との結論が昨年末、**厚生労働省の審議会**で出されました。しかし、接種後に生じた症状に苦しんでおられる方々への支援策は**何一つ進まず、薬液の改良もされないまま再開される**ことに大変憤りを感じています。接種後のさまざまな症状が問題になって勧奨中止になったわけですから、**本来ならば国がしっかり追跡調査をすべきです。**

HPVワクチンの接種をされる方へ（小森谷案）

HPVワクチンの接種について、国は積極的におすすめすることを控えていましたが、2022年4月より勧奨再開を行うことが決まりました。

以下にHPVワクチン接種後に起こりやすいとされる、さまざまな症状について特徴的
とされているものを記しました。これらの症状が出たり消えたり、重なったりしながらひ
どくになっていくことがあります。HPVワクチンは全部で3回接種することになっていま
すが、これらの症状が出たときは途中でやめることもできますので、心配な時は下記保健
センターまでご連絡ください。

〇〇保健センター：029-△△△-××××

【HPVワクチン接種後に起こるかもしれない、さまざまな症状】

1 月経不順

2 月経量の異常

3 関節やからだが痛む

4 ひどく頭が痛い

5 身体がだるい

6 すぐ疲れる

7 集中できない

8 視野の異常（暗くなる・狭くなるなど）

9 光を異常にまぶしく感じる

10 視力が急に低下した

11 めまいがする

12 足が冷たい

13 なかなか眠れない

14 異常に長く寝てしまう

15 皮膚が荒れてきた（湿疹・イボなど）

16 過呼吸

17 物覚えが悪くなった

18 簡単な計算ができなくなった

19 簡単な漢字が思い出せなくなった

20 身体が自分の意志に反して動く

21 普通に歩けなくなった

22 杖や車いすが必要になった

23 突然力が抜ける

24 手や足に力が入らない



つくば市議会議員
文教福祉委員会副委員長
小森谷 さやか
一般質問項目
・ゲノム編集トマト
・つくば市が負担金を支
出しているTGI(つくば
グローバル・イノベー
ション推進機構)
・予防接種の健康被害
・HPVワクチン

思い返してみれば同様のことは今までも繰り返されていて、例えばMMRワクチンの時は髄膜炎の副反応の多さが指摘され続けていたのに、中止を決めるまで4年もの年月を要しました。2,000人近い子どもが髄膜炎を起こし、亡くなった方を含め1,000人以上が健康被害救済制度の認定を受けました（重い障害を負いつつも認められない方もたくさんいます）。スモンの時もサリドマイドの時も同じ構造です。国は被害を認識しつつも調査は行わず、被害者が隠しきれないほど多くなってからやっと重い腰をあげるのです。

もう市町村単位で取り組んでいくしかない、と左のような文書を4月から始まる接種勧奨の際に添付することを要望しました。

HPVワクチン接種後に起こりやすいとされる様々な症状を列記し、**これらの症状が出たり・消えたり・重なったりしながらひどくになっていくことがある、**と注意喚起しています。HPVワクチンは全部で3回接種することになっていますが、これらの症状が出た時に続けて接種するのは慎重に判断いただきたいのです。

今も重い症状を抱えている被害者のお話を聞くと、それらの症状とワクチンの間に因果関係はないと接種医に言われ、**続けて2回、3回と接種していくにつれてひどくなり、自力で歩けず車椅子が必要になったり、学校にも通えなくなる等、取り返しのつかない状況になってしまった、**という話ばかりです。せめて、この程度の注意喚起は必要と考えて左の文書の配布を提案しました。これについて保健部長は「提案を参考に今後検討する」という答弁でした。

一番良いのは医師会と協力して全数調査していただくことです。全てのデータを収集することで、新たなエビデンスが得られるはずです。今後も注視していきます。

マイナポータル 健診データも閲覧できる?! 個人情報を守られるか?!

12月議会の補正予算で、国民健康保険の健診データがマイナポータル（マイナンバーを使用する政府運営のデータシステム）で閲覧できるよう健康情報管理システムを改修する委託費用が提案されました。この改修により、健診データが本人の同意を条件に行政機関や事業者が参照できるようにし、適切な治療に結びつける狙いがあるとのこと。

今後、医療費や薬剤情報、予防接種履歴など全ての医療情報が閲覧できるようになるようです。病歴や服薬歴などの情報漏洩により予期せぬ不利益が生じる可能性はめぐえません。

市民ネットでは、個人の権利利益の保護をより確実に図るため、次の3点を予算決算委員会で附帯決議として提案し、1票差で可決されました。

- 1) マイナンバーカードを持たないことで新たに不利益が生じることの無いよう随時確認をしていくこと。
- 2) このシステムに自己のどのような個人情報が連携されるか、また個人情報利用に同意することの意味や個人情報利用履歴の確認方法等を市民にしっかりと周知すること。さらに問い合わせに対応する担当窓口を明らかにすること。
- 3) 同意後にその同意を撤回したい場合には、提供された個人情報を確実に消去できる仕組みを確保するよう関係機関に働きかけること。

主な活動報告

11/4 バリアフリーマスタープランまち歩き参加
 11/6、7 子どもの権利条約フォーラム2021inかわさき参加
 11/7 とりで生活者ネットワーク10周年記念企画
 「再生エネルギーで創る未来」参加
 11/10、12/14、12/24
 ダンボールコンポスト講習会開催
 11/14 議員と話そう会開催
 11/17 全国市民政治ネットワーク幹事会出席
 11/19 生活クラブ運動グループ協議会出席
 11/21 つくば市の財政を学ぶ会参加
 11/23 新医協:HPVワクチン検討会第18回参加
 11/26 センタービル改修案の利用団体説明会参加
 11/30~12/22 12月定例市議会
 12/ 4 DV子ども虐待 ワンストップ支援を目指した意見
 交換会参加
 12/10、12 高エネ研南側未利用地土地利用方針案に関する
 市民説明会参加
 12/11 東海第2原発再稼働ストップ12・11アクション参加
 12/16 有機栽培の農作物を学校給食に!
 (主催:いばらきオーガニックプロジェクト)参加
 12/19 生活相談会開催
 1/18 臨時議会

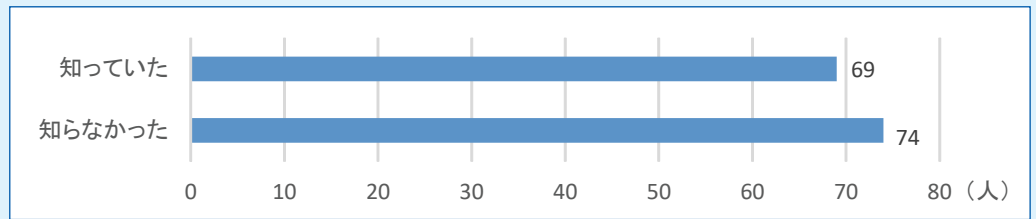
※テーマごとの部会活動の他、市の各種委員会・審議会等も
 多数傍聴しています。

ごみに関するアンケート結果報告

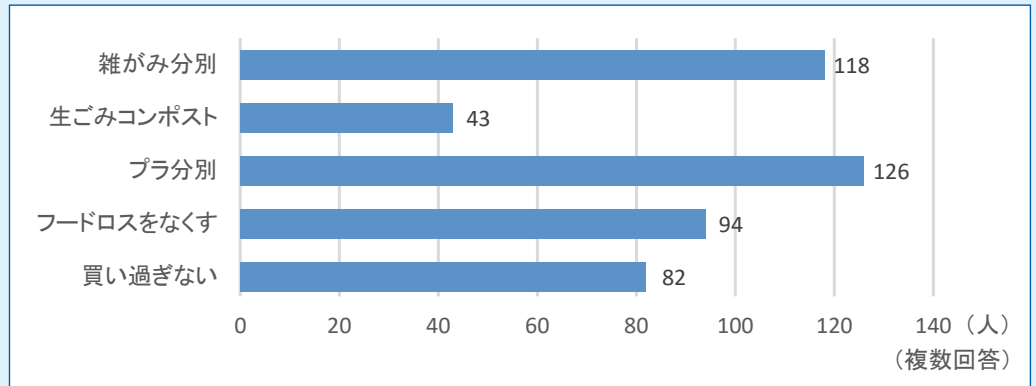
市民ネット通信68号でごみの最終処分場問題をお知らせして、ごみに関するアンケートを行いました。回答はWebも含めて143名。

Q1:つくば市に最終処分場がないことについて

※ 最終処分場:ごみの焼却灰と不燃残渣を埋め立てる場所



Q2:ごみ減量のために積極的に取り組もうと思っていることは?



Q3:「ごみ減量のためにどんなことをしたらよいか」について(自由記述での主なご意見)

*分別の徹底・分別を増やす(生ごみ、木枝)、*もっとたくさんの人にごみ減量や分別の意識を持ってもらう(学校での教育、市の広報、自治会での活動など)、*シンプルな包装、過剰包装を避ける、いらないものをもらわない、*便利さを追及しない、生活の見直しをするなどです。

自由記述の中で様々なアイデアや取り組みを提案いただきました。この輪をもっと広げていけるよう、行政へも働きかけ、市民ネットも引き続き、取り組んでいきます。

つくばセンタービルリニューアル計画

公共スペース設計大詰め

これまで、市民意見や議会提言を反映させながら計画を策定してきたつくばセンタービルリニューアル計画ですが、2023年のリニューアルオープンに向け、設計の最終段階まで来ています。

しかし、磯崎新氏デザインを壊さないようエスカレーター新設に反対する意見や、昨年実施した利用者説明会での意見を反映させ、公共スペースの設計変更が行われ、12月17日に議会の「つくば中心市街地まちづくり調査特別委員会」で設計内容について説明がありました。同時に、つくばまちなかデザイン(株)が管理運営する部分の「つくばセンタービル働く人を支援する場の事業概要」及びつくばまちなかデザイン資金計画についても説明がありました。

(事業概要の資料は、つくばまちなかデザイン(株)ウェブサイト参照) →

センタービルリニューアル公共スペースの大きな変更点は、意匠に配慮しエスカレーター設置は中止、広場に面した大きな開放扉も取りやめ、窓口センターはBiviに移動(市民ネット要望事項)、勉強などに使えるフリースペースの設置等です。

(変更案詳細は、つくば市ホームページ参照) →

市民ネットでは、この設計変更について市民や部会で話し合い、「車いすでも通りやすくなるような通路の確保(自動ドアの設置など)」

「エレベーターの視認性向上」「広場に面した大きな開放扉の復活」等の要望を、議会特別委員会で提案しました。

今後も引き続き、調査し、情報発信していきますのでご注目ください!



コロナ災害から命と生活をまもるための 無料 生活相談

コロナの影響を受け生活困窮になってしまった方々に、公的支援などをつなごうと生活相談を行っています。

ご相談はいつでも受け付けています。お気軽に市民ネット事務所へご連絡ください。



議員と話そう!会

定例市議会の報告を兼ね、代理人(市議)の皆川、小森谷、あさの、川村を交え、様々な情報と意見交換を行います。お気軽にご参加ください。

3月13日(日) 14:00~16:00

つくば・市民ネットワーク事務所
 (つくば市二の宮2-1-3 クラフトビル1F)

※コロナウイルス感染症の拡大状況により
 中止になる場合があります。